

平成23年度 学校自己評価システムシート (県立 川越女子高等学校)

目指す学校像	社会に貢献できる自主・自律の精神に満ちた人間を育成することを基本理念とする。 「学力の向上」と「人格の陶冶」を柱とした組織的教育活動を展開し、「進学実績の向上」を図る。 教職員一人一人が「質の高い授業」の創造に全力で取り組む。
--------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

重点目標	1 「質の高い授業」「組織的な進路指導」「SSH事業」を継続的・体系的に実施することにより、生徒の学習意欲（進路意識）を喚起するとともに、自学自習力の定着に努め、学力の向上を図る。（学力の向上） 2 「品格のある、志の高い生徒」「自主・自律の精神に満ちた生徒」を育成するために、学校行事・生徒会活動・部活動及び体験活動等の充実を図る。（人格の陶冶） 3 学校自己評価システムを効果的に実施し、「目指す学校像」を実現するために教職員の学校経営参画意識を一層高める。（組織的な学校運営） 4 関係者との協力により「創立百周年事業」を組織的に実施し、家庭・地域との連携を一層深める。（開かれた学校づくり）
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	10名
	生徒	34名
	事務局(教職員)	10名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標					年 度 評 価 (2 月 1 日 現 在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	<ul style="list-style-type: none"> ○1年次当初の学習習慣の確立と全学年の学力向上や自学自習力育成は継続課題 ○組織的な進路指導推進のための情報の共有化や職員研修の充実 ○H23指定SSH事業の発展 ○H25教育課程の策定 	<ul style="list-style-type: none"> ・自学自習力の向上 ・質の高い授業の創造 ・体系的な進路指導の充実 ・SSH事業の発展 ・教育課程の策定 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習・生活状況調査を継続的に実施し、結果の検証と生徒個々への個別指導を充実させる ・管理職による授業参観、教員相互授業参観、外部の授業研究により質の高い授業を創造する ・志願校検討会を実施し、生徒一人一人の進路希望に組織的に対応する ・SSH活動を核に進路意識を啓発する ・H25教育課程を策定する 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習・生活状況調査の継続的実施による個別指導の結果、家庭学習時間の不足する生徒をなくす ・質の高い授業を創造した ・志願校検討会を実施し、組織的に対応した ・SSH活動を核に進路意識が高まった ・H25教育課程を策定した 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習時間不足生徒をなくすことは出来なかった ・授業は一定の質の高さを保っている ・進路指導については当初の目標を達成 ・SSH事業にては当初の目標を達成 ・教育課程については当初の目標を達成 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・学習意識の啓発と時間規律の徹底を図ることが次年度の課題 ・授業相互参観や教科による授業研究等の一層の充実が次年度の課題 ・1学年対象の進路啓発や広報の充実が次年度の課題 ・SSH活動の更なる拡充が次年度の課題
2	<ul style="list-style-type: none"> ○学校生活全般にわたる生徒の自主・自律の精神や品格の向上の継続的な指導 ○学校行事・部活動・生徒会活動等で短時間かつ密度の濃い活動の工夫の継続 ○生徒相談体制の強化及び今日的課題に関する啓発活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・自主・自律の精神に満ちた豊かな人間性や品格の育成 ・関係者の連携による生徒指導体制の充実 ・啓発活動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒各種委員会を活性化し生徒の自主的な活動を促し、品格を向上させる ・短時間かつ密度の濃い活動のための研究を継続する ・休日の有効活用と下校時刻を徹底する ・管理職、学年主任、生徒相談係の生徒相談関係連絡調整会議を実施する ・ネットトラブル防止啓発講演会の開催と教職員研修を実施する 	<ul style="list-style-type: none"> ・組織的かつ統一的な対応に基づき、生徒の自主的な活動を支援した ・短時間での活動に工夫が見られ、実績や成果の維持・向上がある ・連絡調整会議が定期的に有効に行われた ・ネットトラブル防止の啓発が計画的に行われた 	<ul style="list-style-type: none"> ・人間性や品格の育成については当初の目標を達成 ・生徒指導体制の充実については当初の目標を達成 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動を初めとする各種活動の時間厳守による効率的活動の継続は今後も課題 ・引き続き関係者が連携を図り生徒指導体制を強化させる ・「ネット見守り」は今後の課題
3	<ul style="list-style-type: none"> ○学校評議員・懇話会委員・生徒・保護者の意見のフィードバックと担当部署の改善を継続 ○生徒の学校生活向上・改善を視野に入れたアンケートの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校自己評価システムの適切な運用 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年・分掌・委員会・教科ごとに到達目標の設定と具体策の立案、実施、評価を行う ・授業評価アンケートの改善と保護者アンケート等の実施について検討する ・学校評議員会や学校評価懇話会等における提言を各分掌等で検討し効果的に活用する 	<ul style="list-style-type: none"> ・各部署において到達目標の達成状況を的確に評価し、次年度への改善内容を整理できた ・生徒アンケート結果を反映して授業力が向上した ・アンケートの内容や方法を改善した ・学校評議員会や学校評価懇話会等の提言を学校運営・教育活動計画に効果的に活かした 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価システムについては当初の目標を達成 ・保護者アンケートの実施 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケートを教育活動の改善に生かしていく事が次年度の課題
4	<ul style="list-style-type: none"> ○本校の教育活動に関する情報発信や広報活動の充実は継続課題 ○小中学校との連携推進活動の重点化 ○教育活動に有益な百周年事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・開かれた学校づくりの取組 ・小中学校との連携推進行事の実施 ・百周年行事の成功 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業公開を積極的に行う ・学校説明会を効果的に実施する ・学校案内の改訂、ホームページの逐次更新をする ・出前授業や中学校補充授業、小学校交流等、連携を密にする ・PTA各種委員会の活動を更に活性化する ・百周年事業に全校を挙げて取り組み、生徒にとって有益な行事を実施する 	<ul style="list-style-type: none"> ・本校の教育活動を適切に周知できた ・学校案内の改訂、学校説明会の効果的実施、ホームページの逐次更新ができた ・出前授業等で中学校との連携を5回以上できた ・PTA各種委員会の活動が活発なものになった ・生徒に有益な行事となった 	<ul style="list-style-type: none"> ・開かれた学校づくりについては当初の目標を達成 ・小中学校との連携については当初の目標を達成 ・有益な百周年行事の実施 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒による学校説明会の継続、発展が次年度の課題 ・百周年の式典はすばらしく、生徒も満足していると思う。百周年同窓会も大成功で、年代を超えて交流できた。 ・記念講演会も「何になりたいかより、今何がしたいかが大事」という言葉が心に残りすばらしい内容であった。 ・中高連携活動もすばらしい成果を上げている。

学 校 関 係 者 評 価	
実施日	平成24年 2月 4日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<ul style="list-style-type: none"> ・生徒自身が授業を盛り上げようと話し合っていること自体がすばらしい。 ・教員がどう考えているかについても反映すればよいのではないかな。 ・本校の生徒は総じて意識、意欲が高いが、それについて行けない生徒への相談窓口があればよい。 ・すばらしい成果を上げているので、達成度をAにしても良いのではないかな。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・文化祭、体育祭などの行事が、生徒主体で運営していることがすばらしい。 ・授業、部活、行事等で体力的にも大変なので必要な睡眠時間や栄養等科学的な検討も必要ではないかな。 ・自分が将来どうすべきか、何をやりたいかを意識すべきだ。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・この場で討論できることが成果である。生徒と教員の信頼関係があるからこそできる。 ・大半の保護者が本校に満足しているという結果が出た。 ・満足していない生徒と教員が話し合える場を作って貰いたい。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・百周年の式典はすばらしく、生徒も満足していると思う。百周年同窓会も大成功で、年代を超えて交流できた。 ・記念講演会も「何になりたいかより、今何がしたいかが大事」という言葉が心に残りすばらしい内容であった。 ・中高連携活動もすばらしい成果を上げている。 	